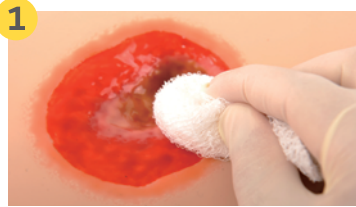


コットンファイラーキットの貼付方法

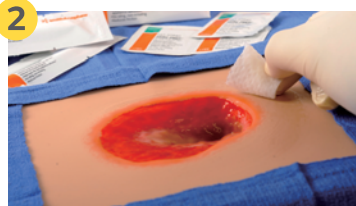
ファイラーの貼付は施設の手順に従って清潔もしくは無菌操作で行ってください。
創傷の洗浄はドレッシングの交換時に必ず行ってください。

Smith+Nephew

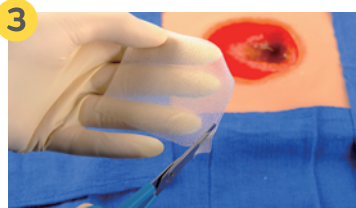
RENASYS[®]
Negative Pressure Wound
Therapy System



必要に応じて壊死組織、痂皮のデブリードマンを行います。また適用前に適切に止血されていることを確認してください。創傷を洗浄し、押え拭きして創傷の周囲の皮膚をよく乾かしてください。



必要に応じて、粘着剤と浸軟から守るために、皮膚被膜剤（ノンアルコールスキンプレップ等）を創周囲の健常皮膚に塗布してください。



創底の保護目的で「非固着性創傷被覆・保護材」を使用する場合は、重ねて使用せず1層となるように創底に適用してください。



コットンファイラーを必ず生理食塩液で濡らしてから、創傷部に適用してください。コットンファイラーは創腔を埋めるように適用してください。生理食塩液をしっかり絞った後、コットンファイラーを一度広げて空気を含ませてから、押し込まないようにやさしく創に充填してください。その際に、湿らせたコットンが健常皮膚に接触しないようにしてください。



ドレープの大きな離けい紙を1枚剥がし、創傷とコットンファイラーをドレープで覆ってください。残りの離けい紙を剥がした後、ドレープ表面を保護しているキャリアを剥がしてください。密閉状態を維持できるようにしっかりと創周囲に密着させてください。周囲皮膚の損傷を防ぐために、ドレープを引っ張って貼付しないでください。ドレープは適切な密閉ができるように創周囲から約5cmは広く貼付してください。部位によってはドレープをいくつかに切り分けることでうまく貼付することができます。複数のドレープを重ね貼りする場合は、重なる部分が少なくとも7.5cmとなるように貼付してください。



ファイラーの上のドレープを摘み上げ、中心に直径2cm以上の穴が開くように切ってください。切り取ったドレープは取り除いてください。



ソフトポートのフィルム部分の離けい紙を剥がし、ドレープの穴にソフトポートのドレッシングの穴が合うように位置を合わせてください。ソフトポートのドレッシングをドレープになじませて貼付してください。



ソフトポートのフィルムのフレーム部分を剥がしながらドレープにしっかりと密着させてください。



ソフトポートのチューブ部分を施設の手順によって、患者に固定してください。また、固定する時にエアフィルターがふさがれていないことを確認してください。



ソフトポートのチューブをキャニスターからのチューブとコネクタで連結してください。確実に連結した場合、カチッという音で確認できます。治療を開始してください。陰圧が伝わり、ファイラーに触れて硬くなっていること、また漏れがないことを確認してください。

販売名: RENASYS 創傷治療システム
高度管理医療機器 (クラスIII)
特定保守管理医療機器

一般的名称: 陰圧創傷治療システム
JMDNコード: 20395000
承認番号: 22400BZX00276000

製造販売元
スミス・アンド・ネフュー株式会社 ウンドマネジメント事業部

© Trademark of Smith+Nephew
© 2014-2021 Smith+Nephew

RN-3
201112-3

使用方法・アラーム解除・故障などでお困りの場合
24時間コールセンター「レナシスダイヤル24」
0120-772750
24時間受付 (年中無休)
※発注のお問い合わせは弊社営業所または販売代理店へお願いします。

フォームフィラーキットの貼付方法

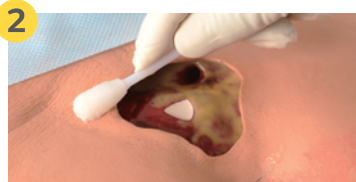
フィラーの貼付は施設の手順に従って清潔もしくは無菌操作で行ってください。
創傷の洗浄はドレッシングの交換時に必ず行ってください。

Smith+Nephew

RENASYS[◇]
Negative Pressure Wound
Therapy System



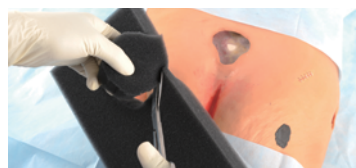
必要に応じて壊死組織、痂皮のデブリードマンを行います。
また適用前に適切に止血されていることを確認してください。
創傷を洗浄し、押え拭きして創傷の周囲の皮膚をよく乾かしてください。



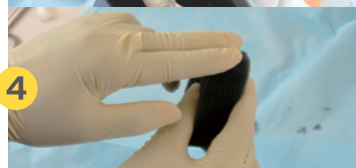
必要に応じて、粘着剤と浸軟から守るために、皮膚被膜剤
(ノンアルコールスキンプレップ等)を創周囲の健常皮膚に
塗布してください。



創底の保護目的で「非固着性創傷被覆・保護材」を使用する
場合は、重ねて使用せず1層となるように創底に適用して
ください。



フォームフィラーを創傷の形状に切り取り、創傷に適用します。
フォームフィラーは創腔を埋めるように適用してください。このと
き、きつく詰め込んだりしないでください。創傷が深い場合は
フォームを積み重ねて創腔を埋めてください。



フィラー適用に関わる使用上の注意

- 深さのわからないポケットや奥深い見えない部位にフォームフィラーを
使用しないでください。深さがわかっているポケットの場合、ポケットの深
さよりも長いフォームフィラーを使用して、ポケットからフォームフィラーの
一部分が必ず出ている状態で使用してください。
- フォームフィラーの切り屑が創傷に落ちることがあるため、創傷の真上
でフォームを切らないでください。フォームフィラーを切った後は、切り屑
を落とすために切断面を軽くこすってください。
- 複数のフォームまたはコットンフィラーを創傷部に適用する場合、適用
した数を記録し、交換時にすべてのフィラーが取り除かれたか確認して
ください。
- 徐脈のリスクを最小限にするため、フィラーを迷走神経の近傍には適
用しないでください。



ドレープの大きな離けい紙を1枚剥がし、創傷とフィラーをド
レープで覆ってください。残りの離けい紙を剥がした後、ド
レープ表面を保護しているキャリアを剥がしてください。密閉
状態を維持できるようにしっかりと創周囲に密着させてくだ
さい。周囲皮膚の損傷を防ぐために、ドレープを引っ張って貼
付しないでください。ドレープは適切な密閉ができるように創
周囲から約5cmは広く貼付してください。部位によってはド
レープをいくつかに切り分けることでうまく貼付することが
できます。複数のドレープを重ね貼りする場合は、重なる部分
が少なくとも7.5cmとなるように貼付してください。
フィラーの上のドレープを摘み上げ、中心に直径2cm以上
の穴が開くように切ってください。切り取ったドレープは取り
除いてください。

ソフトポートのフィルム部分の離けい紙を剥がし、ドレープの
穴にソフトポートのドレッシングの穴が合うように位置を合
わせてください。ソフトポートのドレッシングをドレープになじま
せて貼付してください。

ソフトポートのフィルムのフレーム部分を剥がしながらドレー
プにしっかりと密着させてください。

ソフトポートのチューブ部分を施設の手順によって、患者に固
定してください。固定する時にエアフィルターがふさがれてい
ないことを確認してください。

ソフトポートのチューブをキャニスターからのチューブとコネ
クタで連結してください。確実に連結した場合、カチッという
音で確認できます。
治療を開始してください。陰圧が伝わり、フィラーに触れて硬
くなっていること、また漏れないことを確認してください。

販売名: RENASYS創傷治療システム
高度管理医療機器(クラスIII)
特定保守管理医療機器

一般的名称: 陰圧創傷治療システム
JMDNコード: 20395000
承認番号: 22400BZX00276000

製造販売元
スミス・アンド・ネフュー株式会社 ウンドマネジメント事業部

®Trademark of Smith+Nephew
© 2014-2021 Smith+Nephew

RN-3
201112-3

使用方法・アラーム解除・故障などでお困りの場合
24時間コールセンター「レナシスダイヤル24」
0120-772750
24時間受付(年中無休)
※発注のお問い合わせは弊社営業所または販売代理店へお願いします。